

学 校 評 議 員 会 議 録

開催日時	令和6年2月28日（水）16：30～18：00		
会 場	北海道札幌東高等学校 校長室		
出席者数	学校評議員 3名	学校職員 5名	
出席者名	武 田 奈津子 酒 井 誉 介 川 上 敬	校 長 藤 井 一 志 副 校 長 石 橋 栄 全日教頭 荻 田 英 樹 定時教頭 鶴 野 和 憲 事 務 長 中 村 由紀子	
会議次第・議事内容			
1 開会 2 校長挨拶 3 本校教育活動 (1) 全日制概況説明（全日制教頭） (2) 定時制概況説明（定時制教頭） 4 評議（感想、質問等の交換） (1) 概況説明について ○探究チャレンジ 生徒がテーマに沿って探究した結果を成果物にまとめている。教員が修正等に係る指導を行い支援している。今回の発表では、7分間の英語での発表をノーペーパーで行い審査員からの質問にもしっかりと英語で回答していた。探究テーマを設定するためには誰も経験していないことを自らが経験することなど、リアルな体験を積む仕掛けづくりや好奇心を刺激する仕掛けづくりが必要と考える。 ○生成AIの取扱い 授業によっては活用できる。調査の総括としては良いものはできるものの、オリジナルの考えや意思が反映されないものができてしまう。本校においては、どのように取り扱えば効果的な学習に繋がるものとなるかについて模索している段階である。 ○人間関係のスキル 交渉力がある人、語彙力のある人がスキルは高いのではないかと。例えば、事象や感情を説明させ、自分の語彙力が足りないことを実感させることで、インプットへのモチベーションを喚起することができる。語彙力を身に付けるためには読書が有効である。言語化は、相手を意識した発信力となり、相手の心理を理解する力の向上に繋がる。 (2) 学校評価における教職員による自己評価について ○全日制 高校入学後、中学までの成功体験が大きく失われるほど、自分の成績状況が激変する場合がある。重大な心的ダメージを受ける生徒には、メンタルケアが必要。好きなことを極めることやアドラー心理学を学ぶことはどうか。保護者が子供たちにとって安心安全の砦であるべきである。PTA総会などで子どもたちの様子を伝え、保護者が子どもたちを励ますよう意識すべきことを学校から促すことも大切である。 ○定時制 クロームブックのツールを使用しているだけで学習につながり、自信を持たせることによって、規律にも良い効果が見いだせるのではないかと。授業の最初等でタイピングの練習をさせることは、今後の進路実現へスキル向上につながるのではないかと。 5 連絡事項など (1) 令和5年度の完成部分及び6年度の大規模な学校改修工事について（事務長） (2) 学校関係者評価及び令和6年度学校評議員会の日程について（副校長） 6 校長挨拶 7 閉会			
上記のとおり会議を開催した。 令和6年2月28日（木） 北海道札幌東高等学校長 藤井 一志			